

公開シンポジウム

13:30 ~ 15:15

司会：福岡正太

## 公開シンポジウム

### 「音楽研究とメディアの歴史と未来」

小島美子

丹羽朋子（非会員）

大石 始（非会員）

コメント：久万田晋

録音は、日本の民俗音楽研究において、鳴り響く音楽を記録し研究資料とする方法の1つとして位置づけられてきた。音楽の分析において楽譜を欠かすことはできないが、録音は採譜の必須の前提ともなっている。特に20世紀後半、磁気テープをメディアとする可搬型の録音機が普及すると、それらを用いた集団的な音楽調査が広がった。東洋音楽学会も、1960年代から70年代にかけて、日本各地において民俗音楽調査をおこない、多くの録音資料および付随する調査カードや記録写真等を残した。これらの資料は、現在、国立民族学博物館に所蔵されている。

調査から約半世紀を経たこれらの資料は、この間の日本の音楽の変化を知る上で貴重であることに加え、私たちの研究分野の研究史を知る上でも重要である。録音を重要な手段とする組織的な調査が盛んになった要因の1つは、録音機の普及にあるだろう。また、東洋音楽学会の調査の多くが、九学会連合による調査としてなされており、他の人文科学の諸分野の動向や共同調査の方法に学び、自分たちの調査研究を深めていったことがうかがえる。日本における民俗音楽研究の大きな流れを作り出したこれらの調査を振り返り、日本の社会の変化や人文科学の歴史の中に位置づけてその意義を明らかにする作業の契機として、このシンポジウムを位置づけたい。これらの調査の中心的なメンバーの1人であった小島美子会員から、私たちは多くを学ぶことができるだろう。

それを踏まえた上で、私たちは将来におけるこれらの資料の活用可能性についても考える必要がある。このシンポジウムでは2人の非会員のゲストスピーカーを招き、そのヒントを得たい。1人は、文化人類学者の丹羽朋子氏である。氏は、ドイツの国立科学映画研究所が収集したエンサイクロペディア・シネマトグラフィカ（EC）のフィルムを活用するプロジェクトを進めてきた。「reenactment（再現・再演）」という概念を援用し、科学的な記録フィルムから何を学ぶことができるのかを考えている。伝承者から次の世代へと直接受け継がれていくことが、文化の伝承の理想的な形であろう。しかし、現代では必ずしもそれが可能とは限らない。社会の変動にともない文化をになってきた集団の一体性や連続性が失われ、人から人への伝承が途切れてしまうこともあるだろう。そのとき、録音や録画から私たちは何を再現・再演あるいは継承することができるのか、私たちはそれを考えるべき時代にさしかかっているのかもしれない。

2人目は、全国の音頭や盆踊りの歴史や現代における展開などに関心を持ち、多くの

著作を著わしてきた音楽ライターの大石始氏である。氏は、コロナ禍におけるオンライン盆踊りなどの動向から、ネット空間における盆踊りの可能性について考え始めているという。伝承を支えてきた従来のコミュニティが崩壊した先に、私たちは盆踊りを支えるどのような人のつながりを構想することができるのか。変化や新しい創作が加えられつつ、特定の地域や集団において、人から人へと伝えられてきたというところに民俗音楽の特質があったと考えるならば、ネット空間の盆踊りに民俗音楽的な要素を見いだすことはできるのか、また、過去の世代の音楽を記録した録音・録画資料は、そこで過去と現在をつなぐ何らかの役割を果たすことはできるのか。学会が作成した調査記録資料を、来るべき時代の音楽文化に生かすために、私たちはさまざまなシナリオを描き、活用の可能性を考えるべきなのではないだろうか。（福岡正太）

\*小島美子氏は録画映像での報告となります。

#### 非会員登壇者紹介

##### 丹羽朋子（にわ・ともこ）

国際ファッション専門職大学講師。中国・日本の工芸文化や、東日本大震災の記録と表現について文化人類学的調査を行う。2012年よりECフィルム活用プロジェクトに参加。共著に『ものの人類学』（京都大学学術出版会）、『災害文化の継承と創造』（臨川書店）など。「窓花・中国の切り紙」展（福岡アジア美術館他）、「映像のフィールドワーク展」（生活工房）等の展覧会制作にも携わる。



##### 大石 始（おおいし・はじめ）

1975年、東京生まれ。地域文化を追う音楽ライター。旅と祭りの編集プロダクション「B.O.N」主宰。著書に『盆踊りの戦後史』（筑摩選書）、『奥東京人に会いに行く』（晶文社）、『ニッポンのマツリズム』（アルテスパブリッシング）、『ニッポン大音頭時代』（河出書房新社）など、編著書に『大韓ロック探訪記』（DU BOOKS）、『GLOCALBEATS』（音楽出版社）など。現在屋久島古謡に関する著作を執筆中。

